

1/30
福井

安保法廃止へ団結

県内有志が新運動組織

福井 200人参加し集会

安全保障関連法の廃止を目指す県内有志が、所属する団体の垣根を超えた運動組織



安全保障法廃止への決意を語る若者グループ代表＝26日夜、福井市の県教育センター

「戦争する国づくり反対！福井総がかりアクション」を結成し26日夜、福井市の県教育センターで県民集会を開いた。毎月19日を統一行動日に設定し、10万筆の署名を集め

る方針を決めた。組織は、今年7月に弁護士21人が呼び掛けた安保法制への反対運動を引き継ぎ、県平和センターや9条の会など県内の団体、野党のメンバー、

大学教授らで構成する。

集会には約200人が参加した。鳥田広弁護士が安保法制の問題点について講演した後、各団体の代表者らが「戦争のない平和な国を守る」という意見表明。9月19日の法案成立を「立憲主義を破壊し民主主義を蹂躪した歴史的暴挙」とし、「異なる意見に耳を傾ける民主政治を取り戻そう」などとするアピールを採択した。12月19日は午後1時から、福井市中心部で集会とデモ行進を行い、署名活動を展開する。(坂下亨)